

三重県経営品質協議会

学ぶ楽しさを知ってほしい



2017 活動のご案内

会員募集中!



【設立】
2001年

【会員数】
50組織

【年会費】
¥50,000

人材教育から経営理論まで、各種のプログラムでトータルに学ぶ環境を提供しています。

日程

月例会：4月、6月、8月、9月、10月、11月の6回/年

経営者向け：7月、8月、9月、10月、11月、1月、2月の7回/年

仕事に役立つ研修：12月、2月の2回/年



Mie Quality Award Council

〒514-0004
三重県津市栄町一丁目891番地
三重県合同ビル 5階

三重県経営品質協議会

TEL : 059-213-1100 FAX : 059-228-3800

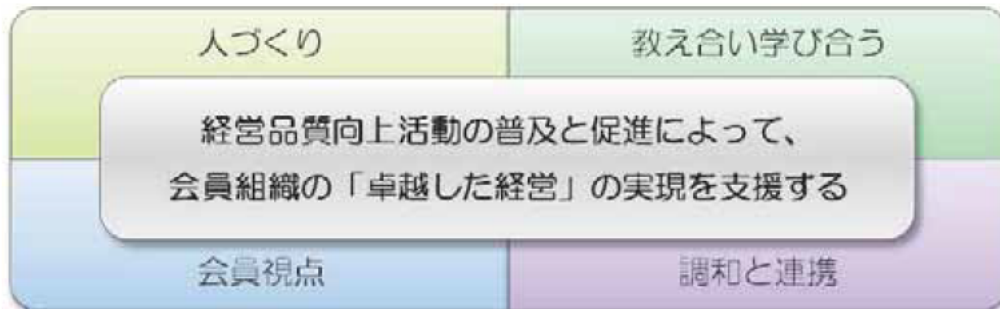
三重県経営品質協議会の存在意義・行動規範・目指す姿

三重県内のあらゆる組織が「卓越した業績を生み出す経営の仕組みづくり」を追求していく上での推進母体として、2001年に「三重県経営品質協議会」は設立されました。この存在意義・行動規範・目指す姿は、これまでの活動を振り返り、将来を見据えた上で協議会運営委員が中心となって、協議会の目的、活動のあり方及び将来像等を話し合ってまとめ上げたものです。

1. 存在意義（ミッション）

三重県経営品質協議会は、地域の経済活動を活性化するという社会的サービスを提供する任意団体です。経済活性化の本質的な手段は、マクロの視点よりもミクロの一つひとつの組織が「卓越した経営」を実現することである、との認識に基づいて、協議会の存在意義を次の様に定める。

『経営品質向上活動の普及と促進によって、会員組織の「卓越した経営」の実現を支援する』



存在意義と4つの行動規範

2. 行動規範（価値基準）

三重県経営品質協議会が存在意義を果たす上で、何を信じ、どう振る舞うかを次の4つの行動規範で示す。

(1) 人づくり

経営革新を推進する「人づくり」が、我々の活動の基盤である。会員組織のひとり一人が革新推進者として「自ら成長する場」となる活動を中期的な視点に立って展開する。

(2) 教え合い学びあう

協議会活動は、参加者が経営革新の良きパートナーとして相互研鑽を図り、一人ひとりが成長と自己実現の喜びを味わう場であると位置づけている。我々が推進する活動の共通する特徴は、対話を重視し教え合い学びあうことにある。

(3) 会員視点

協議会活動のすべての起点は、会員の視点に立脚することにある。我々が提供する活動の評価は、地域会員のニーズに即したものであるか、そして経営革新に向けた「気づき・やる気・勇気」を実感できるものであるか、という観点である。

(4) 調和と連携

地域に根ざした調和と連携を図り、三重県の経済活性化と発展に貢献する。そのために、卓越した経営を目指している組織をはじめとした会員組織、県・金融界・産業界、及び経営品質協議会や地方協議会と協働する。

3. 目指す姿（ビジョン）

三重県経営品質協議会の将来像を、運営委員会が目指すべき状態及び地域の望ましい状態として表明する。

(1) 組織活性化の活動が満載の協議会を目指す。

(2) 卓越した経営の実現に取り組んでいる組織が日本で一番増え続けている地域を目指す。



目指す姿

三重県経営品質賞

三重県経営品質賞とは？

経営品質活動に取り組む組織にとってのゴールでありスタートでもある申請書の外部評価が、三重県経営品質賞です。申請書の書類審査と、実際に組織を訪問して3日間に亘る現地審査を経て、外部審査員から詳細なフィードバックレポートが提出されます。このフィードバックレポートが宝物で、これまで受審した組織の経営者も、その分析力の高さに舌を巻くほどの内容です。自組織の強みや改善すべき領域がつぶさに示され、今後の経営革新を進めていく上での大きな指針となるものです。しかし、三重県経営品質賞の審査は単に賞を取るためだけのものではなく、外部審査員の目で自組織を見てもらい、第三者から見た自組織の「今」の状態を経営層に気づいていただくことが目的です。従って、経営者にとっては自組織の活動や取り組みの道筋が間違っていないかどうかの目安にもなりますので、是非ともご活用いただきたいと思います。

本年度の審査は以下のスケジュールで進めさせていただきます。

< スケジュール >

- ◆説明会 7月7日(金)～7月11日(火) および7月24日(月)～26日(水) の中で1日
場所は三重県合同ビル 5階 相談室
- ◆資格確認 7月11日(火)～8月31日(木)
- ◆申請書受付 9月29日(金)
- ◆申請書審査 10月初旬～11月下旬
- ◆現地審査 11月下旬～1月中旬
- ◆表彰組織の決定 2月中旬
- ◆表彰式 3月中旬

< 申請組織 資格要件 >

三重県経営品質賞は、顧客本位に基づく経営の実現に向けた改善・革新活動という考え方を十分に共有している三重県内に所在する組織であれば、外国企業の日本法人や関連会社、非営利法人を含め、どなたでも賞にチャレンジする資格があります。例えば、株式の公開・非公開を問わず、国内あるいは海外企業、合弁会社、株式会社、有限会社、合資会社、合名会社、持株会社、非営利組織でも申請することができます。詳しくは2017年度版三重県経営品質賞申請ガイドブックを参照願います。

< 審査費用の内訳 >

審査費用：500,000円(書類審査+現地審査)(税込み)



表彰盾



知事賞受賞企業に送られるトロフィー

今まで受賞された組織

年度	受賞組織	
2016	知事賞	井村屋グループ株式会社
2015	表彰組織なし	
2014	奨励賞	井村屋グループ株式会社
	奨励賞	大東自動車株式会社 三重県南部自動車学校
2013	奨励賞	株式会社エムケイ・コーポレーション
2012	奨励賞	株式会社オートセンターモリ
	奨励賞	株式会社マスヤ
2011	優秀賞	医療法人夢真会せご歯科クリニック
	奨励賞	株式会社伊勢萬
	推進賞	株式会社オートセンターモリ
2010	奨励賞	三重県立北星高等学校
2009	表彰組織なし	
2008	知事賞	万協製薬株式会社
	奨励賞	三重電子株式会社
	チャレンジ賞	伊勢農業協同組合
2007	優秀賞	万協製薬株式会社
		富士ゼロックス三重株式会社
2006	表彰組織なし	
2005	知事賞	光精工株式会社
	奨励賞	万協製薬株式会社
2004	奨励賞	株式会社アソシエード第一
2003	優秀賞	光精工株式会社
	奨励賞	株式会社ホンダ四輪販売三重北
		三重ゼロックス株式会社（現 富士ゼロックス三重株式会社）
2002	知事賞	松下電子部品株式会社カスタムコンポーネンツカンパニー スピーカビジネスユニット （現 パナソニックエレクトロニックデバイス株式会社 カスタム部品ビジネスユニット）
		カネソウ株式会社 株式会社宮崎本店
	奨励賞	光精工株式会社
		財団法人三重県環境保全事業団
		三重県中小企業団体中央会
	2001	知事賞
三重リコー株式会社（現 リコージャパン株式会社 三重支社）		
奨励賞		カネソウ株式会社 株式会社宮崎本店
		チャレンジ賞